

日刊建設工業新聞 6月1日(金) 掲載



建築設備技術者協会（JABMEE）の中部支部設備女子会は5月25日、第4回見学会をLIXIL榎戸工場（愛知県常滑市）で開いた。写真。仙台、東京、大阪など中部圏

以外からも6人が加わり合計35人が参加。同社の最新の自動化工場を見て回った。同会運営委員を務める藤原工業の藤原永知子さんは「建設業では、14年から女性の活躍がうたわれ、期待の高さに戸惑い、不安に思っている人も多いと思う。設備女子会では職種や年齢がさまざまでもみんな仲間。みんなで助け合い、それぞれの持ち場で頑張りたい」と呼び掛けた。見学会では、3班に分かれ従来の手作業で製造を行うラインと最新の自動化ライン、シヨールームなどを見て回った。自動化工場では、ロボットアームが自らアタッチメン

## LIXIL 榎戸工場で見学会

### 全国から35人が参加

#### JABMEE 中部設備女子会

トを交換して作業する様子に「まるで人間のよう」との声が上がっていた。

同工場は敷地面積約8万5000平方メートル。建屋の総延べ面積約6万3000平方メートル。月産9万個の陶器製品を製造する能力があり、主に衛生陶器を製造している。原料は約半分が海外からの輸入。原料の微粉碎から型づくり、鋳込み形成、乾燥、施釉（ゆう）、焼成、検査などの工程を行っている。製品は愛知県知多市の工場へ運ばれ、タンクや便座など周辺部品と組み合わせられて出荷される。

同会は16年6月に発足。会員数は約60人で、交流会や見学会などを通じて、会員間の交流や技術の向上を図っている。